



# 若葉台中学校

<http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/jhs/wakabadai/>

発行 平成30年5月2日  
横浜市立若葉台中学校  
学校だより 1号  
校長 岩永 徹  
副校長 佐久間桂一

今年もよろしく申し上げます

校長 岩永 徹

桜の開花が早かったこの春、新たな年度となり、私は着任2年目となりました。今年もよろしく申し上げます。

今年度、私が期待することを、子どもたちに次のように話しました。

(2, 3年生が参加した始業式にて)

「今年度、特にみなさんに期待したいことは、2つあります。

一つ目は、授業への取組です。

学校生活のほとんどは授業の時間です。ですから、当たり前のことですが、授業をしっかりとやるのがとても大切です。昨年度も、熱心に取り組んでいた人はたくさんいましたが、今年はさらにレベルアップしてほしいと思います。ただ先生の話聞き、黒板に書かれたことを写す、という受け身の姿勢ではなく、授業に集中して、自分の頭を働かせながら、前向きに授業に取り組んでください。そうすれば、必ず学力は向上します。ぜひ毎日の授業を大切にしてください。

二つ目は、行事への取組です。

これについては、昨年度も大変素晴らしい取組でしたし、きっと今年も素晴らしいものになるだろうと期待しています。二、三年生、とりわけ三年生の活躍を楽しみにしています。よき伝統を引き継いでいってください。」

(入学式にて)

「今日、先生から皆さんに伝えたいことは、『ルールとマナーを大切にしてほしい』ということです。

ルールとは、『必ず守らなければならないきまり』のことです。若葉台中学校にも、決められたルールがあります。先生や先輩に教えてもらいながら、しっかりとルールを覚えて行動してほしいと思います。

マナーとは、『お互いが気持ちよく過ごすための思いやりの気持ちと行動』のことです。たとえば挨拶。人と出会ったら必ず挨拶しなければならない、というきまりはありません。だけど、家族や友達や先生や地域の方と、朝、顔を合わせたら『おはよう』、帰りには『さようなら』と挨拶することで、みんなが気持ちよく過ごすことができます。挨拶を例に話しましたが、いろいろな場面で、思いやりの気持ちを行動に表してほしいと思います。」

今年度も、ご支援のほど、よろしく願いいたします。

## 平成30年度 特別支援教育について

特別支援教育とは、「生徒一人一人の学習状況や教育的ニーズを把握して、その持てる力を高めて、個々の子どもの生きる力を育む教育」です。生活上や学習上の困難を改善または克服するために適切な支援を行っていきます。どのような支援を行っていくかについては、それぞれの生徒、保護者のニーズが違いますので、保護者の皆様や生徒からの要請があれば、いつでも必要な支援内容を伺い支援内容を考えてまいります。学級担任等を通じてご相談、ご連絡いただきたいと思います。

特別支援コーディネーター 坂本 泰彦

## 30年度 職員紹介

	1学年 主任 平山俊一	2学年 主任 梶原靖子	3学年 主任 脇田伸一
1組	平山 俊一	野呂 尚諒	鱈坂 (あじさか) 拓真
2組	高橋 典子	青田 卓也	新路 (しんみち) 祐貴
3組		土屋 奈々	中野 律子
45組	須田 亨 中野 明穂		
副担	坂本 泰彦	池田 雅明	横溝 さゆり
副担	松岡 晴香	池西 達郎	松下 欣旦 (よしあき)

【進路指導主任】 松下 欣旦 【生徒指導専任教諭】 坂本 泰彦

【養護教諭】 大河内 美幸 【事務職員】 黒宮 雪彦

【技能職員】 高梨 豊明・武田 恭子

【非常勤講師】 森井 健治 (美術) ・ 相本 邦江 (家庭)  
齋藤 眞知子 (理科)

【初任者指導】 小野寺 洋明

【学校司書】 成田 志麻 【カウンセラー】 堀 明子

【AET】 エメリー・ムーディー

## 平成30年度 部活動

今年度4月25日現在の部員数と顧問を掲載しました。

<p>吹奏楽部 顧問 高橋典子 松下欣旦</p> <p>1年 13名 松岡晴香 2年 12名 黒宮幸彦 3年 13名</p>	<p>剣道部 顧問 脇田伸一 野呂尚諒</p> <p>男 女 1年 0 4名 2年 0 3名 3年 3 3名</p>	<p>女子テニス部 顧問 中野明穂 ・ 鱈坂拓真 高梨豊明</p> <p>1年6名 2年7名 3年6名</p>
<p>卓球部 顧問 梶原靖子 池西達郎</p> <p>1年男子10名 女子0名 2年男子17名 女子2名 3年男子 5名 女子0名</p>		<p>野球部 顧問 平山俊一 須田 亨</p> <p>1年6名 2年5名 3年4名</p>
<p>バスケット部 顧問 坂本泰彦・青田卓也</p> <p>1年 6名 2年 8名 3年 8名</p>	<p>3年木村 匠さん フットサルの日本 代表に選ばれまし た。ヨーロッパで行 われる世界大会に 出場します。</p>	<p>バドミントン部 顧問 新路祐貴 中野律子</p> <p>1年男子2名 女子5名 2年男子0名 女子5名 3年男子6名 女子3名</p>
<p>茶道部 顧問 土屋奈々・横溝さゆり</p> <p>1年1名 2年6名 3年9名</p>		<p>自然科学部 顧問 池田雅明・武田恭子 大河内美幸</p> <p>1年3名 2年4名 3年4名</p>

## セクシャル・ハラスメント窓口

横浜市では、セクハラ防止、被害の相談窓口を設けていますが、学校でも窓口を設けています。被害にあったり、嫌な思いをしたときは、一人で悩まずに、是非相談してください。生徒、保護者ともに相談できます。

### 【相談窓口となる職員】

養護教諭 大河内 美幸  
生徒指導専任教諭 坂本 泰彦

尚、スクールカウンセラー、身近な担任や部活動顧問などに相談されても結構です。

## /5・6月の主な予定/

- 5月 2日(水) 5校時避難訓練、地区別集会  
5日(土) みんな集まれ 若葉台グラウンドで色々な催しが行われます  
10日(木) 放課後学習会  
15日(火) 朝会、眼科検診 13:15~  
16日(水) 内科検診、市総合体育大会(2年生運動部代表が参加) 3年4校時下校  
17日(木)  
~ 3年修学旅行(京都・奈良方面)  
19日(土)  
21日(月) 3年修学旅行代休  
22日(火) 1年生遠足(江の島方面)  
23日(水) 2年4校時下校  
24日(木)  
~ 2年自然教室(戸狩方面)  
26日(土)  
28日(月) 2年自然教室代休  
29日(火)・30日(水) 副教材費支払い (朝:昇降口 8:00~8:25)
- 6月 2日(土) 土曜授業参観(道徳・オリンピック講話) PTA総会  
4日(月) 2日の振替休日  
8日(金) 第1回進路説明会 15:30Eホール  
11日(月) 放課後学習会  
13日(水)  
~ 第1回定期試験  
15日(金)  
18日(月) 交通安全教育  
21日(木) 旭区国際平和スピーチコンテスト  
22日(金) 小中合同研究授業 6校時小学校の先生が授業を見に来ます  
26日(火) 霧が丘高校チャレンジスクール 3年生が霧高で説明を聞いたり、見学をします  
29日(金) 三自治会安全協議会

## 1 中期学校経営方針

### (1) 学校経営中期取組目標

#### 学校経営中期取組目標

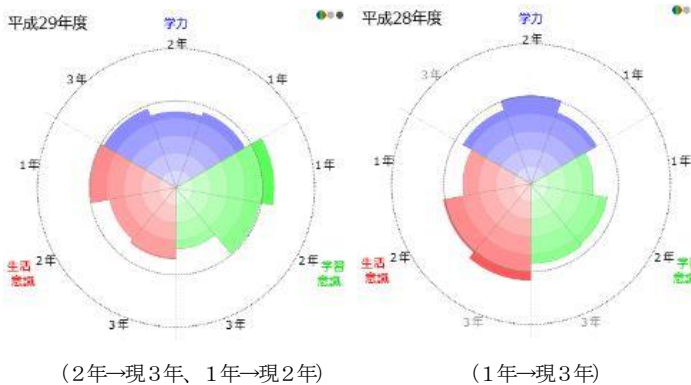
- 子ども一人ひとりを大切に、学びを通して自立をめざします。
- 子どもが「わかる、できる」を実感し（基礎基本の定着）、「考える」授業を通して、思考力、判断力、表現力等の「学ぶ力」を育成します。
- 人も自分も大切にできる人権尊重教育を推進し、相手の立場に立って考えられる「思いやり」の気持ちと共生、協働の態度を育成します。
- 自治意識、自治能力を育てる主体的な生徒会活動を推進し、課題解決を図ろうとする力を育成します。
- 多様な人と関わり、充実した体験活動や実践の中で、自己肯定感や自己有用感を醸成します。
- 地域の教育力を生かして、地域からの学びと交流を図る中で、地域の中で成長し、社会に貢献できる子どもを育成します。

### (2) 学力向上に向けた重点取組分野・取組目標・具体的取組

重点取組分野	取組目標	具体的取組
<b>確かな学力 (学習指導)</b>	○基礎・基本の定着を重点に置くとともに、「学び合い」や「対話」を重視し、主体的に課題を解決していく中で、社会の中で生きていく力を育てる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎日の朝読書（学習の習慣化、学ぶ力、考える力の育成）</li> <li>・放課後の学習会</li> <li>・授業改善月間・ユニバーサルデザイン・特別支援教育の視点を踏まえた授業</li> </ul>
<b>担当</b>	学習指導部	

## 2 横浜市学力学習状況調査からの実態把握

### (1) 学力状況の概要



第1学年は、国語の学力で向上がみられる。中でも「話す・聞く能力」「書く能力」で市の平均を上回っている。一方で、数学(算数)では基礎的な計算や比例・反比例の理解などで課題がみられた。第2学年は、国語と数学において市の平均とほぼ同じ状況である。理科では学習に対する意識は高いものの、学力層の差が大きく、全体としては市の平均を下回る結果となった。第3学年では、数学と理科で市の平均に近い結果となっている。英語は苦手としているものの、前年度よりも基礎的な力の向上がみられるが、活用力の定着に課題がある。学校全体としては国語・社会では「基礎・基本」、数学・理科・英語では「活用」の力が課題であり、各教科の状況に合わせた支援が必要である。

### (2) 教科学習の状況

- 国語：自分の考えが伝わるように文章を書く能力が身につけている一方で、話す・聞く能力や基礎的な知識・理解に課題がある。
- 社会：資料を読み取ったり、資料をもとに考えて表現する力に課題がある。
- 数学：基本的な知識を用いて説明したり、具体的な事象と数学を関連付けて考察したりする「見方・考え方」の力に課題がある。
- 理科：理科への意識は高くなっており、観察・実験の技能や科学的な思考・表現は伸びているが、知識・理解が低い傾向がある。
- 外国語：読解（概要理解）、表現（部分作文）、言語に関するきまり（文のきまり）に課題がある。

### (3) 経年変化の状況と要因の分析（学習・生活意識調査も含めて分析）

過去3年間（平成27年度から29年度）の経年変化の状況から、学年や教科の差はあれど、全体として学習への意識が市の平均と同様か下回る結果が多いことが分かる。「勉強は好きですか」「授業はわかりやすいですか」「一日にどのくらい勉強しますか」といった質問への回答がどれも市の平均を下回っている。しかし一日の勉強時間（塾や家庭教師を除く）が1時間未満という生徒の割合は、平成27年度は55%であったが、平成29年度は48%と減少傾向にあり、学習の習慣化を呼びかけている成果が少しずつ表れている様子がうかがえる。今後も生徒一人ひとりが分かりやすい「ユニバーサルな授業」をさらに心がけ、教師の授業力の向上を目指していくとともに、放課後や夏季休業中の学習会などを通して、生徒自身が課題を明確に持ち、解決していく過程を大切にしていくことが重要である。

また「音楽や美術などの芸術に関心がある」という生徒は市の平均を上回り、約8割近くにのぼる。自己意識に関する質問でも「人とコミュニケーションをとることが好き」「ものごとを最後までやりとげて嬉しかったことがある」に対する回答が経年で上昇傾向にあり、合唱コンクールや体育祭などの学校行事に熱心に取り組む中で、上記のような結果につながっていると考えられる。今後も、生徒の主体的活動を中心とする学校行事を実施していきたい。

生活意識に関しては、「1日にスマートフォンにかける時間」が「3時間以上」と極端に多い生徒の割合は市の平均と同程度であるが、1時間以上と答えた生徒は市よりも多い上に年々増えており、全体で約66%に及ぶ。「一日の読書時間」に関しては年を経るごとに時間が増え、毎日10分以上読書している生徒は市と比べて非常に多い。「朝読書」の取組の結果、積極的に本を読もうとする姿勢が定着しつつあるのだと考えられるため、今後も継続していきたい。「まちの行事に参加」している生徒は市の平均より1割以上上回り、55%であった。地域と生徒との根強いつながりは今後も保っていききたいと考える。